



5月20日(火)

2008年(平成20年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

〈国内産〉高品質チコグ株クロレラ

ヤクケン
バイオリック

クロレラ工業(株)
お客様相談室 0120-818655
http://www.chlorella.co.jp/

News Click

日本人3人目の米ツアー制覇 17
米男子プロゴルフツアーのAT&Tクラシックで18日、今田竜二(31)がツアー初優勝。日本人選手の優勝は5年ぶり3人目。

アルプス・外野席一新 24
阪神甲子園球場(兵庫県西宮市)のアルプス・外野席リニューアル工事の概要が発表された。荷物を下に置ける新座席や内野席全体を覆う銀傘など快適性向上を重視。今季オフに着手し来年3月完成。

りそな、野村HDと提携意欲 318

ダブリン会議「最新型」例外で合意か 1617

五輪商戦、薄型TV出そろう 8

滞納障害児の退所容認通知 23

株価・投信 7~10 スポーツ 1517

将棋 12 小説 1217 読んであげて 10

http://mainichi.jp/

熱伝導抑制の原因解明

省エネ素材開発に期待

広大院

広島大学院(東広島市)の研究グループは19日、熱を電力に変える熱電変換で、熱伝導率を下げる原子の動きの原因を、レーザー光を使った実験で初めて解明した、と発表した。伝導率が下がると、効率よく電力が得られる。ごみ焼却炉の廃熱などを利用した熱電発電は、省エネルギーや地球温暖化対策に役立つと期待されており、今回の成果で技術開発が進むと期待される。

総合科学研究科の宇田川眞行教授らで、論文は、米国の物理学雑誌「フィジカルレビューレターズ」(先月25日付)に掲載された。熱電発電は、半導体の両端に温度差のある物質を置くと電力が生じる現象を応用。宇田川教授らは、物質にレ

ーザー光を照射したときに得られる光を観測し、半導体中の原子構造体が大きいほど、原子の運動が活発化し、熱伝導率を下げることを突き止めた。

通常の金属では熱伝導率が高く、両端の温度がすぐに同じになり、効率よく電力が得られない。半導体中の原子の活発な運動が熱伝導率を抑制することは知られていたが、原因は不明だった。

【井上梢】

クローン牛子孫米、出荷自粛せず

都内で公聴会

体細胞クローン牛や豚、その子孫の肉や乳の安全性について、厚生労働省と農林水産省は19日、東京都内で公聴会を開いた。この中で厚労省は、米国がクローン家畜の子孫については出荷自粛対象からはずしたことを明らかに